

授業科目 介護におけるコミュニケーション II

【担当教員名】 星 紀恵子		対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	◎	
【概要・一般目標：GIO】 コミュニケーション障害を理解し、障害に応じたコミュニケーション技法を身につける。また、介護におけるチームのコミュニケーションについて理解する					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 感覚機能、運動機能、認知機能、知覚機能が低下している利用者の状態を理解することができる。 2 介護におけるチームのコミュニケーションに必要な記録や報告・連絡・相談、会議について学び、その技法を習得することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	コミュニケーション障害とは			1	演習、担当：星 紀恵子
2	障害のある利用者への対応の視点			1	演習、担当：星 紀恵子
3	視覚障害に応じたコミュニケーション技法			1	演習、担当：星 紀恵子
4	聴覚障害に応じたコミュニケーション技法			1	演習、担当：星 紀恵子
5	認知症に応じたコミュニケーション技法			1	演習、担当：星 紀恵子
6	言語障害に応じたコミュニケーション技法			1	演習、担当：星 紀恵子
7	知的障害・精神障害に応じたコミュニケーション技法			1	演習、担当：星 紀恵子
8	運動障害に応じたコミュニケーション技法			1	演習、担当：星 紀恵子
9	チームのコミュニケーションとその方法			2	演習、担当：星 紀恵子
10	介護における記録の意義と目的と種類			2	演習、担当：星 紀恵子
11	記録の書き方と留意点			2	演習、担当：星 紀恵子
12	記録の活用と保護と管理			2	演習、担当：星 紀恵子
13	「報告」「連絡」「相談」の意義と目的			2	演習、担当：星 紀恵子
14	会議の意義・目的・方法・留意点			2	演習、担当：星 紀恵子
15	まとめ			1.2	演習、担当：星 紀恵子
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 試験・レポート・出席状況・授業態度等で総合的に評価する。			【履修上の留意点】 グループ討議では、積極的に発言すること。		